

関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	国語Ⅰ 国語Ⅱ 国語Ⅲ
教科書	
補助教材等	
学習上の留意点	
<p>○1～3年の間に習得した「話す・聞く・読む・書く・考える」の5つの力を総動員し、未知の資料(漢詩)の読解に全力で取り組み、説得力のある考察を記した資料を作成し、制限時間内で、効果的なプレゼンテーションを行う。</p> <p>○プレゼンテーションを行う機会は1回しかないため、担当日に間に合うように早めに準備に取りかかること。</p> <p>○資料の評価が80点をクリアすれば、プレゼンテーションの練習に取りかかる。</p> <p>○事前プレゼンテーションの評価が、授業前日までに80点をクリアすれば、当日プレゼンテーションすることができる。</p> <p>○翌週の担当者を優先的に指導する。担当日に間に合わなかったグループは後回しにする。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>資料の完成までに3～5週間、プレゼンテーションの練習に1週間はかかります。よって、入学して最も苦勞する授業になるのではないかと思います。覚悟して下さい。ただし、その分プレゼンテーションをやり終えた後の「達成感」は、ものすごくあります。期待して下さい。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	ガイダンス①	<ul style="list-style-type: none"> ○シラバスをもとに、授業内容や学習到達目標等を理解できる。 ○効果的なプレゼンテーションの方法について理解できる。 ○資料作成方法について理解できる。 ○図解の方法について理解できる。 ○簡単な図解資料を作成し、それをもとにスピーチやプレゼンテーションができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する詩を、畑村研究室や図書館の本、インターネットを利用して探す。 ○簡単なプレゼンテーションを行うために、レポートとして図解資料を作成し、それをもとに授業でプレゼンテーションを行う。
2	ガイダンス②		
3	ガイダンス③		
4	プレゼンテーション①	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで選んだ漢詩について、詩のテーマや内容を理解し、所定の資料にまとめることができる。 ○漢詩に関して調べたり考えたりしたことを、図解資料にまとめることができる。 ○作成した資料をもとに、効果的なプレゼンテーションができる。 ○他者のプレゼンテーションに対して、本質的で具体的な質問やコメントをすることができる。 <p>なお、プレゼンテーションは、2人1グループで、1週に3～4グループが行う。順番は、ガイダンスの際に決める。</p> <p>プレゼンテーションの準備は次のような手順で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各グループが、漢詩1首を所定の日までに選ぶ。 ○所定の日までに、A4用紙×4枚の資料を完成させる。 ○資料には、漢詩の本文、書き下し文、口語訳、語釈、詩人の紹介、詩題の解説、考察を行う。考察には、考察内容をわかりやすくまとめた図解資料を掲載する。 ○聴く側の学生は、プレゼンテーション後に質問する。質問の内容やレベルは「聴く力」の評価の対象となる。また、「審査用紙」を用いてプレゼンテーションを審査・評価する。 ○プレゼン終了後、発表者は審査用紙の結果を整理し、「まとめプリント」を作成して次の授業までに提出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担当する詩を調査する。 ○プレゼンテーションの資料の作成する。 ○プレゼンテーションの練習をする。 ○プレゼンテーション審査用紙のまとめと、質問に対する回答の準備を行う。 ○他のグループのプレゼンテーションの練習に立ち会い、アドバイスやコメントを行う。 ○授業で出されたレポート課題の作業を行う。
5	プレゼンテーション②		
6	プレゼンテーション③		
7	プレゼンテーション④		
8	プレゼンテーション⑤		
9	プレゼンテーション⑥		
10	プレゼンテーション⑦		
11	プレゼンテーション⑧		
12	プレゼンテーション⑨		
13	プレゼンテーション⑩		
14	プレゼンテーション⑪		
学年末試験			
15	試験返却・解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○テスト内容の確認を行う。 ○半期の学習内容の確認を行う。 	
総学習時間数			45 時間
講義			30 時間
自学自習			15 時間